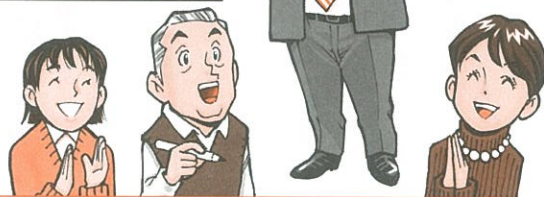


Let's Study!

家主の会 近況レポート



北海道から沖縄まで、全国津々浦々の家主の会にアクセスしました！勉強会、見学会など多彩な取り組みをレポートします。2月は、繁忙期真っ只中。空室対策として即効性のあるテクニックが注目されたようです。民泊の話題は、相変わらず日本じゅうどこでも熱いですね。



東京調布大家の会

入居者募集時の部屋図面・物件周辺案内図や区分マンション投資のトラブル事例公開



代表
海野真也 (41)
(東京都調布市)

海野真也オーナーが代表を務める東京調布大家の会は、2月6日、第11回勉強会を開催。47名が参加した。第一部は、「最新空室対策」空室なんて恐くない」と題し、代表でありJIREC公認不動産

産コンサルタントでもある海野オーナーが、入居者ターゲットを絞った募集方法の具体例と、管理会社との付き合い方について体系的に解説。不動産賃貸経営におけるUSPや、意外と知られていないマーケティング論理「マイケル・ポーターの競争原理」を紹介した。

賃貸募集のキラーツール③～選べるアクセントクロス～

●ちよつとしたアイデアで競合物件との差別化が容易になる。

～選べるアクセントクロス～
下地の3タイプのカロスから好みのものを選び、色も選べます。

タイプA	タイプB	タイプC

※各事例の都合により一部に色違いの組み合わせがあります。

海野オーナー力作のレジュメ。募集案内・物件周辺案内図・選べるアクセントクロス・プレゼント品などについて解説されています。

第二部では、「トラブル事例に学ぶ！管理から見た投資マンション選びのポイント」をテーマに、JIREC公認不動産コンサルタントの石坂久氏が講演。不動産管理から見た投資マンション選びのポイントを面白おかしく解説した。区分所有投資マンションのトラブル事例や、管理組合・修繕積立金の問題点などについて学んだ。参加者からは、「修繕積立金会計の貸借対照表の見方や重要性がよく理解できた」と、大満足の声が上がった。

広島大家塾

繁忙期に満室の実現を図る最新設備やコストカット術を伝授



代表
横山 顕吾 (44)
オーナー
(広島市)

見る好機となった。参加者から講師へ、見積もり依頼があるほど盛り上がった。勉強会のあとは、ランチ交流会とお茶会に11名が参加。

「不動産投資から賃貸経営へ」という理念を掲げ、活動中の広島大家塾。代表の横山顕吾オーナーは、2月6日、繁忙期に備えて「繁忙期に満室へ！これから実践する最新空室対策！」をテーマとする勉強会を開催した。広島市内の会議室に参加者36名が集まった。講師は、空室対策総合商社CITV光のCEO倉住強一郎氏と、広島支店長の緒本翔平氏の2名。

来月以降も、勉強会が続々と企画されている。4月2日は、「銀行員だけが知っている」著者のメガバンク不動産鑑定士が語る「10年で現金資産1億円！」をテーマに長岐隆弘氏が登壇予定。4月23日は、「Amazon不動産投資ランキング1位獲得」空き家を買って不動産投資で儲ける！の著者が語る「もう貧乏には戻れない！大阪商人の秘密の蓄財術」をテーマに、三木章裕氏が登壇予定だ。



CITV光の講師2名が、入居者やオーナーに人気商品の紹介や地震保険の活用、設備のコストカットを丁寧に解説。